

2007年6月5日

奈良市長 藤原 昭 様

「奈良市を見まもる会」代表 酒井孝江
奈良市学園緑ヶ丘2-8-15 〒631-0026
電話0742-44-9196 / FAX 0742-47-5672

旧西部公民館跡地の売却についての公開質問書

日々、奈良市政発展のためご努力いただいておりますことに感謝いたします。

さて、5月25日に学園前ホールで開かれたタウンミーティングで、市長は財政再建のため旧西部公民館跡地を売却すると言われました。今は無料で私たちが利用している公民館を有料化するとも言われました。

また、「生きがいを持ち健康で長生きできるまちづくり」として、あやめ池跡地を「文化芸術総合センター」にするとも言われました。

質疑応答の時間、3～4人の市民が次々に「旧西部公民館跡地は売らないで欲しい」と発言し、多くの市民がこのことについて強く関心を持っていることを如実に表していました。

今まで西部地区には必要な施設が不足し、市民は大変不自由な思いをしてきました。私たち「奈良市を見まもる会」も度々市に対して旧西部公民館跡地を「図書館本館として拡充新設し、現西部図書館を分館に」「一時保育、病後時保育等ができる24時間保育所の設置を」「合唱と指導のできる音声館のような独立した公共施設を」等と訴える公開質問書を提出してきました。ですのでこの度の、あやめ池に総合的な施設を造るというお話しは大変意義深いことだと思われます。

しかし、「あやめ池に造るから、学園前の市民もあやめ池に行くように」と言われるのでしたらそれは問題です。近鉄学園前駅は奈良県内で乗降客が一番多く、奈良市や奈良県の活性化にとって非常に重要な位置を占めます。そして駅北側の旧西部公民館跡地はこの学園前の駅前一等地です。

駅前一等地とは、市民にとって非常に便利で重要な財産です。通勤・通学途中に気軽に無理なく短時間で寄れ、忙しい市民生活を助けます。駅を中心にして市民は歩いて活動し、中心市街地の活性化に役立ちます。多くの市民が行き交うこの場所に、生活に直結した施設があるべきです。

そこで下記の通りご質問いたします。お忙しいところを申し訳ありませんが、6月26日までにFAX等でご回答いただきますようお願いいたします。なお、ご回答は公開させていただきます。

記

1, 保育所に入るのを待たされている待機児童が5月1日現在145名おられます。子どもを取り巻く問題が頻発している昨今、若い親が孤立しながら奮闘している育児を、少しでも社会が手助けする必要があります。忙しい朝の出勤前に、遠回りとなる保育所までわざわざ子どもを預けに行く、毎日大変な思いをしている若い親を少しでも助けるため、駅前保育所を旧西部公民館跡地に造って下さい。

2, 市民が自発的に活動し部屋が足りない状態の公民館ですが、有料化は健康な市民活動を阻害します。お金がない人は活動できなくなるような有料化はやめて下さい。

3, 西部地区には足りない施設がまだまだあります。「文化芸術総合センター」の詳細な計画を公開し、市民の意見を聞いて下さい。

4, 石木町の市有地など計三百億円を超える塩漬け土地を奈良市および市土地開発公社は保有しています。なぜ市民の要望の高い旧西部公民館跡地だけを特出して売り払おうとされるのか説明して下さい。

奈公秘第17号の2
平成19年6月21日

「奈良市を見まもる会」
代表 酒井孝江 様

奈良市長 藤原 昭

「旧西部公民館跡地の売却についての公開質問書」について（回答）

2007年6月5日付けでいただいております表記の公開質問書について、別紙のとおり回答いたします。

1, 保育所に入るのを待たされている待機児童が5月1日現在145名おられます。子どもを取り巻く問題が頻発している昨今、若い親が孤立しながら奮闘している育児を、少しでも社会が手助けする必要があります。忙しい朝の出勤前に、遠回りとなる保育所までわざわざ子どもを預けに行く、毎日大変な思いをしている若い親を少しでも助けるため、駅前保育所を旧西部公民館跡地に造って下さい。

(回答)本市では、待機児童解消のため保育所新設・増改築によりこの10年間に於いて約1,000人の定員増加を図ってまいりましたが、なお入所希望者が多く、ご指摘のとおり待機児童が生じている状況ですので、奈良市次世代育成支援行動計画(平成17年3月策定)では、民間活力を活用した施設整備(民設民営)を進め待機児童を解消することとしております。

また保育所運営検討委員会で、保育園の民営化・認証保育園・「こども園」などをどのようにしていくかという構想づくりを進めていきたいと考えています。

2, 市民が自発的に活動し部屋が足りない状態の公民館ですが、有料化は健康な市民活動を阻害します。お金がない人は活動できなくなるような有料化はやめて下さい。

(回答)公民館の有料化についてのご質問ですが、現在のところ、館を利用されるかたにご理解いただけるような使用料制度の導入について検討しており、社会教育委員や学識経験者のほか、一般公募した市民のかたも参加する委員会で検討を行っています。会議の内容は市のホームページで公開していますので、ご覧ください。

この委員会では、使用料制度の導入だけでなく、今後の公民館のあり方も含めて検討しています。財政的な視点だけでなく生涯学習の場という視点からも見直しを行っていますので、ご理解くださるようお願いいたします。

3, 西部地区には足りない施設がまだまだあります。「文化芸術総合センター」の詳細な計画を公開し、市民の意見を聞いて下さい。

(回答)いきがいを持ち、健康で長生きできるまちづくりの実現のための一つの施策として、市民の皆様の文化芸術活動を支援するため、文化芸術の情報を蓄積し、その情報を活用できるインフォメーションセンター及び文化芸術活動の拠点の整備を計画しています。

今年度は、基本構想の策定を予定しており、パブリックコメント等により市民の皆様のご意見を取り入れた計画としてまいりたいと考えております。

4, 石木町の市有地など計三百億円を超える塩漬け土地を奈良市および市土地開発公社は保有しています。なぜ市民の要望の高い旧西部公民館跡地だけの特出して売却しようとするのか説明して下さい。

(回答)西部公民館跡地の売却は、行財政改革の一環として行ないませんが、財政的な面だけではなく、この場所は近鉄学園前駅前であることから、地域にふさわしい施設とすることを条件とし、民間から公募により利用方法の提案を求め、その提案内容を検討し売却します。

また、土地開発公社の保有地は、平成18年3月に策定した土地開発公社健全化計画に基づき、その活用や整理を進めてまいります。